

# 中田地区まちづくりアンケート 結果報告

作成：中田地区まちづくり勉強会 壁画プロジェクトチーム  
日時：2026年1月26日

## 1. アンケート実施の趣旨

【背景】昨年、南仙台駅が開業 100 周年という大きな節目を迎えました。これを機に、私たち「中田地区まちづくり勉強会」では、一部の関係者だけで議論を進めるのではなく、「地域にお住まいの皆様が日頃どのように感じ、どのようなまちを望んでいるのか」、その率直な思いを一度きちんと把握する必要があると考えました。

【目的】本アンケートは以下の 3 点を明らかにし、今後のまちづくりの基礎資料とすることを目的としています。

- 100 周年事業と地域活動の評価：記念事業や日頃の活動が、住民にどう受け止められているか。
- 南仙台駅の将来像への意向：高架化（線路持ち上げ）か橋上駅化（駅舎 2 階化）か、住民の意向はどうか。
- 地域特有課題の相対的な優先度：渋滞、踏切、水害、西口利便性など（市議会で議題となった地域固有の課題・問題）の中で、住民が気になるもの・重視するものは何か。

## 2. 対象と実施方法

調査対象	中田地区 4 連合町内会（中田地区／中田西部／東中田／中田中部）全世帯
調査方法	アンケートによる回答（回覧・配布、市民センター・コミュニティセンター設置）
調査期間	令和 7 年 12 月 1 日～22 日
配布数	合計 2,500 枚（全世帯数の約 1 割および公共施設への設置）
回収数	914 件（有効回答）

## 3. データ概要と注意点

有効回答数：914 件。Q1「居住地域」は単一選択として集計し、Q1 が未回答（0 件選択）は 15 件でした。地域区分の表記は、東中田・袋原・四郎丸を「東部（東側）」として整理します。

Q8 は「市議会等で取り上げられてきた中田地域固有の課題・問題」に限定した設問です。空き家、ごみ、福祉、子育て支援など普遍的な地域課題は選択肢に含まれていないため、Q8 結果から地域課題全体の最優先順位を断定しません。

## 4. 結果の要約

- Q3：100周年であることを知っていた（60%）、式典・感謝祭への参加（10%）
- Q4：100周年の取組の印象は肯定的（「とても良い」「だいたい良い」計74%）
- Q5：勉強会の「名前を聞いたことがある」23%（活動内容まで知るは相対的に少ない）
- Q6：今後の関わり方は「参加者として参加したい」が最多。準備・運営や話を聞きたい層も一定数。
- Q7：将来像の賛否は高架化賛成41%、橋上駅化痰賛成22%、よく分からない20%
- Q8：提示した“中田固有の課題・問題”の中では、踏切・渋滞・西口利便性・水害などへの関心が高い（普遍的な課題の順位ではない）
- Q9：自由記述では、交通・駅の利便性、商業・にぎわい、空き家、福祉等の意見が見られる

## 5. 中田地区まちづくりアンケート 結果分析（Q1～Q9）

### Q1 居住地域

地域	回答数	構 成 比 (%)
西中田	160	17.8%
東中田	149	16.6%
中田	148	16.5%
四郎丸	110	12.2%
袋原	110	12.2%
柳生	109	12.1%
中田町	81	9.0%
その他	34	3.8%
<b>有効回答数</b>	<b>899</b>	<b>100.0%</b>

有効回答数は899人（全回答914人中、未回答15人）。居住地域を見ると、**西中田が17.8%と最も多く、東中田（16.6%）、中田（16.5%）が続きます。**四郎丸・袋原（各12.2%）や柳生（12%強）もそれぞれ1割強ずつおり、中田町は1割弱です。**東部（東側）の東中田・袋原・四郎丸で全体の約4割、中央の（中田・中田町で全体の2.5割、西側の西中田・柳生で約3割強**を占めており、回答者は地域内各所から概ねバランスよく集まっています（地区外「その他」回答は3.8%）。なお、当設問は単一選択として集計されており、重複回答は0件です。以降の分析では、東中田・袋原・四郎丸を「東部（東側）」として整理して言及します。

## Q2 属性

### (1) 性別

性別	回答数	構成比 (%)
女性	481	53.5%
男性	408	45.4%
その他	1	0.1%
無回答・無回答希望	24	—

有効回答数は 899 人（任意回答）。回答者の性別は女性が約 54%、男性が約 45%で、女性がやや多い傾向でした。回答者の中で「その他（自認しない）」は 1 名、回答を希望しない人は約 1%（9 名）とごく少数でした。

### (2) 年齢

年齢層	回答数	構成比 (%)
60～74 歳	293	32.5%
75 歳以上	223	24.7%
40～59 歳	219	24.3%
20 歳未満	104	11.5%
20～39 歳	53	5.9%
無回答・無回答希望	12	—

有効回答数は 902 人（任意回答）。回答者の年齢は高齢層に偏っており、60～74 歳が約 32%、75 歳以上が約 25%で、合わせて 60 歳以上が過半数（約 57%）を占めます。一方、40～59 歳は 24%、39 歳以下は 17%程度に留まり、若年層の回答は少数でした。回答者の年代構成上、高齢者の意見が中心になっている点に留意が必要です。

## Q3 100 周年関連の認知・参加

設問概要: 「南仙台駅 100 周年」に関する取組について複数選択（当てはまるものすべて）で尋ねました（有効回答数 890 人）。

100 周年施策に関する認知・参加状況	回答数	構成比 (%)
南仙台駅が開業 100 周年だったことを知っていた	532	59.8%
「南仙台駅 100 周年記念式典・感謝祭」があったことを知っていた	477	53.6%

	回答数	構成比 (%)
100周年施策に関する認知・参加状況		
これらの100周年の取組は今回のアンケートで初めて知った	245	27.5%
中学生による駅壁画原案づくりの取組を知っていた	122	13.7%
小学生の「私の町の未来ステーション」絵画募集・表彰を知っていた	100	11.2%
上記の式典・感謝祭に実際に参加した	93	10.4%
子どもたちの作品展示や表彰式を実際に見た／参加した	87	9.8%

約6割の回答者が「南仙台駅が100周年だったこと」を知っており、半数以上は記念式典・感謝祭の開催自体も認知していました。しかし、実際に式典・感謝祭へ参加した人は1割程度に留まっています。また、4人に1人以上（27.5%）がこれら100周年の取組を「今回のアンケートで初めて知った」と回答しており、地域住民の相当数が当該取組について周知不足だったことがうかがえます。中学生の壁画制作や小学生の絵画募集といった子ども主体の企画について知っていた人は1割強程度で、子どもたちの作品展示等を実際に見た人も1割未満でした。高齢層ほど100周年関連の認知率が高く参加経験もやや多い傾向にあり、若年層・現役世代では「初めて知った」が相対的に多いと考えられます。

## Q4 100周年の取組に対する印象

**設問概要:** 100周年関連の取組についての印象を尋ねました（単一選択、有効回答数890人、任意で自由記述意見欄あり）。

100周年の取組の印象	回答数	構成比 (%)
とても良いと思う	395	44.4%
だいたい良いと思う	262	29.4%
どちらとも言えない	92	10.3%
あまり良いと思わない	5	0.6%
良いと思わない／必要ないと思う	6	0.7%
よく分からない（評価できない）	132	14.8%

100周年記念の取組に対する住民の評価は概ね良好で、「とても良い」「だいたい良い」を合わせた肯定的評価が約74%にのびました。特に「とても良いと思う」が44%と最多で、「だいたい良い」の29%を上回っています。否定的評価（「あまり良くない」または「良いと思わない」）はごく少数で合わせて約1%に過ぎません。一方、「どちらとも言えない」が10%程度、「よく分からない（評価できない）」という回答も15%弱あり、一部の住民には内容が十分伝わっていなかった可能性があります。なお、本設問には任意記述の意見・アイデア欄もあり16件の自由回答が寄せられました。自由意見には「駅構内の展示が良かった」「今後も地域の歴史を発信してほしい」といった前向きな声のほか、「周知不足で知らなかった」などの指摘も一部見られました。

## Q5 地域活動の認知・参加（勉強会・商工会・イベント等）

**設問概要:** 中田地区のまちづくり勉強会や商工振興会、駅周辺イベントへの認知・参加状況について複数選択で尋ねました（有効回答数 867 人）。

地域活動に関する認知・参加状況（複数選択）	回答数	構成比（%）
上記のどれも今回のアンケートで初めて知った	388	44.8%
中田・東中田商工振興会（東側）の存在を知っていた	236	27.2%
柳生・西中田商工振興会（西側）の存在を知っていた	228	26.3%
「中田地区まちづくり勉強会」の名前を聞いたことがある	197	22.7%
南仙台駅周辺で行われるイベント（マルシェ、かぶと虫相撲大会、夢 HANA など）に参加したことがある	186	21.5%
（勉強会が）どんな活動かだいたい知っている	74	8.5%
中田西部連合町内会が（勉強会の）母体になっていることを知っていた	71	8.2%

地域のまちづくり活動や団体に関する認知は全体的に低く、「今回のアンケートで初めて知った」が 45% と最多でした。中田地区には駅西側の「柳生・西中田商工振興会」と駅東側の「中田・東中田商工振興会」がありますが、それぞれの存在を知っていた人は全体の約 25%程度に留まります。また、「中田地区まちづくり勉強会」について名前を聞いたことがある人は 2 割強（23%）、その活動内容まで「だいたい知っている」人は 1 割未満（8.5%）でした。勉強会の母体になっている中田西部連合町内会について知っていた人も同程度（8%）とわずかです。一方、**駅周辺イベントへの参加経験がある人は約 20%おり**、「知らなかった」層よりは少ないものの一定数存在します。地域別に見ると、東部在住者は東側商工振興会、西部在住者は西側商工振興会の認知率がやや高い傾向にあります。また、本設問には**駅周辺イベント等の印象に関する自由記述欄も設け、36 件の意見が寄せられました**。自由意見では「イベントが地域のにぎわいに貢献している」「今後も続けてほしい」といった肯定的な声の一方、「参加したことがない」「興味がない」といった声も聞かれました。

## Q6 まちづくりへの関わり方の意向

**設問概要:** 地域のまちづくり活動への関わり意向について複数選択で尋ねました（有効回答数 816 人）。

地域活動への関わりたい形（複数選択）	回答数	構成比（％）
特に関わりたいとは思わない	395	48.4%
イベントなどに参加者として参加したい	305	37.4%
（勉強会の）話を聞いてみたい	79	9.7%
機会があればイベントの準備・運営にも関わってみたい	71	8.7%
勉強会メンバーとして活動してみたい（内容によっては考えてみたい）	68	8.3%

「まちづくり活動に特に関わりたいくない」人が 48%と約半数を占め、最も多くなりました。一方で「イベント参加者としてなら参加したい」人も 37%おり、地域行事への参加意欲自体は一定程度見られます。さらに少数ながら、「機会があればイベントの準備運営もしてみたい」7~8%、「勉強会の話を聞いてみたい」約 10%、「勉強会メンバーとして参加を検討したい」7~8%といった積極的な層も存在します。これら複数選択肢の合計から回答者の約 57%は何らかの形で関与する意欲があることになり、受け身ながら参加してみたい層から主体的に関わりたい層まで幅広く含まれています。ただし約半数は消極的であるため、活動参加のハードルを下げたり魅力を高めたりする工夫が必要と言えます。参加意向は現役世代よりもリタイア後の高齢層で若干高い傾向が見られました。

## Q7 南仙台駅の高架化・橋上化に関する意識

**設問概要:** 南仙台駅周辺の鉄道高架化・橋上駅舎化（自由通路設置）について、(1)話題の認知度、(2)JR 東日本への調査委託の認知度、(3)現時点での賛否、を質問しました（それぞれ単一選択）。また(4)任意の自由記述欄で意見募集（110件の回答）。（Q7有効回答数 約860~890人）

### (1) 高架化・橋上駅化の話題の認知度（計画内容を知っていたか）

- だいたい知っていた: 275人（約30.7%）
- 内容は聞いたことがある程度: 339人（約37.8%）
- 今回のアンケートで初めて知った: 283人（約31.6%）

約 3 割が「以前からだいたい内容を知っていた」と回答し、話題自体を知っていた層（具体的内容を把握＋うわさ程度）は合計約 68%にのびります。一方で、「今回初めて知った」層も 3 割強おり、少なからず情報が行き渡っていない住民も存在します。

### (2) JR 東日本への調査委託の認知度

- 知っていた: 230人（25.9%）
- 何となく聞いたことがある程度: 247人（27.8%）
- 今回のアンケートで初めて知った: 412人（46.3%）

高架化に関し市が JR 東日本へ調査を委託していることについて「知っていた」人はわずか 26%に留まり、半数近く（46%）は今回初めて知ったと回答しています。話題自体は知っていても、その具体的な進捗（調査委託の事実）までは知らなかった層が多いことがうかがえます。

### (3) 高架化・橋上駅化への賛否（現時点）

※単一選択（高架化支持と橋上化支持両方選択した回答も含む）。

高架化・橋上化への賛否意向	回答数	構成比（%）
（鉄道）高架化に賛成	378	42.6%
（駅舎）橋上駅化に賛成	218	24.6%
どちらとも言えない（判断保留）	134	15.1%
どちらにも賛成できない（両案に反対）	11	1.2%
よく分からない（意見を持ってない）	173	19.4%

現時点で南仙台駅の高架化に「賛成」とする人は 42.6%と全体の約 4 割強を占めています。一方、**駅橋上化（自由通路設置）への賛成は 24.6%**で、高架化支持よりは低率です。これら 2 項目に複数回答した方もおり、「**高架化・橋上化どちらにも賛成**」という人も一定数いると推測されます。そのため単純合計はできませんが、両方いずれかに賛成と答えた人は**概ね半数強**と考えられます。「**どちらとも言えない（判断保留）**」は 15%おり、「**よく分からない（よく理解していない）**」層も 19%存在します。**明確に両案に反対の立場を取る人はごく少数（約 1%）**でした。高架化は踏切渋滞の解消や安全性向上につながるため比較的支持が多く、橋上駅化（自由通路）については日常的に駅を利用する人（特に西側住民）で支持率が高い傾向があります。

(4) **自由記述（駅改善案への意見）**：本設問には**南仙台駅の高架化・橋上化に関する自由意見欄があり、110 件の回答が寄せられました**。寄せられた意見の主な内容を分類すると、**約 8 割近くが駅や交通（踏切・渋滞・道路・バス・駐輪等）に関する課題や要望**で占められていました。具体的には「西口改札の早期設置」「踏切遮断による渋滞解消」「駐車場・駐輪場の整備」「路線バスの充実」など、駅アクセスや周辺交通環境の改善を求める声が最多でした。その他、「踏切安全対策や治安・防犯面の不安」、「駅周辺の商業施設やにぎわい創出への期待」、「子どもや高齢者も安心して利用できるバリアフリー化」といった意見も一部見られました。

## Q8 中田地域の課題テーマに関する設問

**設問概要**: 中田地域固有の論点について、「仙台市議会などで取り上げられてきたテーマ」に限定して提示し、(1)知っている/気になるテーマ（複数選択）と、(2)その中で特に重要と思うもの（2 つまで選択）を尋ねました。【※本設問は**中田地域固有で議論されてきた論点群**に限定しているため、空き家・ごみ・福祉・子育て支援など普遍的な地域課題は選択肢に含まれていません。このため **Q8 結果は地域課題全体の優先度を直接示すものではない**点に留意が必要です。】

(1) 知っている／気になるテーマ（複数選択・有効回答数 859 人）

	回答数	構成比 (%)
中田地域の主な論点（市議会等で取り上げられたテーマ）		
踏切の安全確保・長時間遮断による渋滞／地域分断の解消	461	53.6%
南仙台駅周辺や旧 4 号線（仙台名取線）などの渋滞・緊急車両が通りにくい	399	46.4%
南仙台駅西口の利便性向上（改札、バス・自転車、歩行者動線など）	338	39.3%
中田地区の都市計画道路（南仙台駅・四郎丸線等）が長年途中のまま	287	33.4%
名取川の大雨時増水・中州堆積などに対する水害対策／内水排水対策	259	30.1%
国道 4 号仙台バイパス渋滞緩和のため名取川への新規橋梁の建設検討	231	26.9%
名取川および河川敷の活用（散歩・スポーツ・イベント等）	187	21.7%
（上記のどれも）今回のアンケートで初めて知った	146	17.0%
地域の景観・緑を良くしていくこと（景観・環境）	91	10.6%

地域固有の論点に関する認知・関心は、踏切問題と道路渋滞問題が突出しています。「踏切の安全確保・長時間遮断の解消」は全体の 53.6%が選択し最も関心度が高く、「南仙台駅周辺や旧 4 号線などの渋滞解消」も 46.4%と半数近くが関心を示しました。次いで「南仙台駅西口の利便性向上」（39.3%）や「都市計画道路の長年未整備」（33.4%）、「名取川の水害対策」（30.1%）が関心度の高いグループです。一方、「名取川・河川敷の利活用」（21.7%）や「地域の景観・緑の向上」（10.6%）は関心を持つ人が相対的に少なく、「上記のどれも知らなかった」層も 17.0%存在します。

(2) 特に大事だと思うテーマ（2 つまで選択・有効回答数 858 人※2 つ以上回答者含）

特に重要だと思う中田地域の論点	回答数	構成比 (%)
踏切の安全確保・長時間遮断／分断の解消	380	44.3%
南仙台駅周辺・旧 4 号線などの交通渋滞解消	310	36.2%
南仙台駅西口の利便性向上（自由通路の整備）	235	27.4%
名取川の水害対策・内水排水対策	229	26.7%
名取川への新橋梁建設（国道 4 号仙台 BP 渋滞緩和）	214	25.0%
都市計画道路の早期整備	131	15.3%
名取川および河川敷の利活用	89	10.4%
特にない／わからない	60	7.0%
景観・緑を良くしていくこと	47	5.5%

「特に重要だと思う課題」としても踏切問題が最重視されており、44.3%が「踏切の安全・長時間遮断の解消」をトップ優先事項に挙げました。次に「駅周辺・旧4号線などの交通渋滞解消」が36.2%で続き、これら交通インフラの課題が双壁となっています。その次のグループとして、「南仙台駅西口の利便性向上」(27.4%)や「名取川の水害対策」(26.7%)、「名取川への新橋梁検討」(25.0%)が約2~3割の支持を集めました。河川敷活用や景観・緑の向上などは優先度が低く、上位に挙げた人は1割未満にとどまります。また、「特にない／わからない」を選んだ人も7%程度おり、特定の課題を絞りきれない回答者も一定数いました。

**地域別の傾向:** 地域ごとの重要課題ランキングを見ると、**居住地域によって優先課題に差が見られます。**

【例】西中田や柳生など駅西側の地域では「南仙台駅西口の利便性向上」が最も重視され、**西中田では実に58%もの人が西口改札等の整備を優先課題に挙げています。**柳生でも半数以上が駅西口改善を選び、踏切問題(約43%)より高率となっています。一方、**四郎丸・袋原など東部地域では「名取川への新橋梁建設による渋滞緩和」が最重視され、四郎丸の回答者の約41%、袋原で約36%が新橋梁をトップ課題に挙げました。**東中田では「駅周辺・旧4号線渋滞解消」が1位(38%)で、新橋梁や踏切問題がそれに次いでいます。また**中田(中田中部)地区では「踏切の長時間遮断解消」が突出して重視され(58%)、**他地域より踏切問題への関心が高いことが読み取れます。これらから、**駅西口整備は駅西側住民、新橋梁や道路整備は東側住民、踏切対策は鉄道で分断された中央部の住民にとってそれぞれ優先度が高い課題であることがわかります。**

## Q9 自由記述 (その他ご意見)

**設問概要:** 最終設問(任意回答)として、中田地区のまちづくりに関して自由記述で意見・提案を募りました(回答者全体の14%にあたる128件の回答)。

自由記述回答(計128件、複数テーマ重複あり)を内容で分類すると、次の通りです。

自由記述の主なテーマ(複数該当カウント)	件数	自由記述内構成比(%)
渋滞・道路／バイパス	41	32.0%
駅利便性(西口改札・動線等)	30	23.4%
その他(個別事例や上記以外の課題)	25	19.5%
商業・にぎわい	20	15.6%
名取川の河川敷活用・公園整備	20	15.6%
駐輪・駐車場／公共交通	18	14.1%
イベント・地域活動	12	9.4%
治安・安全／マナー	12	9.4%
踏切・鉄道／交通安全	11	8.6%
空き家・人口減少／まちの将来	10	7.8%

自由記述の主なテーマ（複数該当カウント）	件数	自由記述内構成比（％）
景観・緑／環境	6	4.7%
防災・水害（名取川の氾濫対策等）	5	3.9%
バリアフリー（高齢者・障がい者対応）	4	3.1%
動物（クマ出没対策等）	1	0.8%

自由記述では、交通インフラや駅利便性に関する意見が特に多く寄せられました。「渋滞・道路・バイパス」に関する言及が全体の 32%を占め最も多く、次いで「南仙台駅の利便性向上（西口改札設置など）」が 23%を占めました。これら上位 2 つは Q8 で提示されたテーマとも重なり、多くの回答者が具体的な要望や懸念を自由意見として詳述しています。その他、「地域の商業活性化・にぎわい創出」（16%）や「名取川河川敷や公園の活用」（16%）も比較的多く言及されました。また「駐輪場・駐車場の不足や公共交通の利便性向上」についての声も 14%あり、駅周辺の移動手段環境への関心がうかがえます。防犯・安全（交通マナーや深夜徘徊等）や地域イベントに関する意見も 1 割前後ありました。

一方で、Q8 では扱っていない普遍的な地域課題についての言及も散見されました。自由意見中には「空き家対策」「高齢者福祉」「子育て支援」「ごみ問題」など日常生活に直結する課題にも触れられており、これらは設問 Q8 の選択肢には含まれていなかったものの住民の関心事となっていることがわかります。「空き家の増加や人口減少で地域の将来が心配」「ごみのポイ捨てや不法投棄を何とかしてほしい」「高齢者や子育て世代が安心して暮らせる支援策が必要」といった声が「その他」カテゴリー（19.5%）として寄せられました。【防災・水害対策】についての要望（3.9%）や【バリアフリー化】の提案（3.1%）も少数ながら見られ、地域の弱者配慮や災害対策への意識もうかがえます。

総じて自由記述からは、Q8 で提示された交通・インフラの論点以外にも、地域の日常課題（防犯・福祉・環境など）に対する住民の生の声が見られました。アンケート結果全体を通じて、交通インフラ整備（踏切・道路・駅）の必要性が強調される一方、生活環境やコミュニティ面での基礎的課題（空き家、ごみ、防犯、福祉など）にも引き続き取り組む必要があることが読み取れます。地域住民の率直な意見を踏まえ、これら多様な課題に対するバランスの取れたまちづくり施策の検討が求められます。

この報告書は、「中田地区まちづくり勉強会」のホームページ（[nakaben.org](http://nakaben.org)）でもご覧いただけます。スマートフォンの方は、下の「QR コード」にカメラを向けると開けます。

